

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	花に聞いてみよう！実を結ぶための夫々の工夫を		
実施日時	2019年5月12日（日）9時30分～12時30分		
実施場所	千葉市昭和の森公園		
受講者	22名	FIC会員他スタッフ	9名

活動の内容

2019年（令和元年）連休明けの公園は落ち着きを取り戻し、穏やかな春の日差しが緑の芝生一杯にふりそそいでいる朝です。

アイスブレーキングを兼ねて、A3用紙に印刷した配布資料を皆さんと一緒に折り畳み、手のひらに乗る大きさ8ページの小冊子ができました。これで、資料を片手にページをめくりながら樹木や花を観察しながら散策ができます。

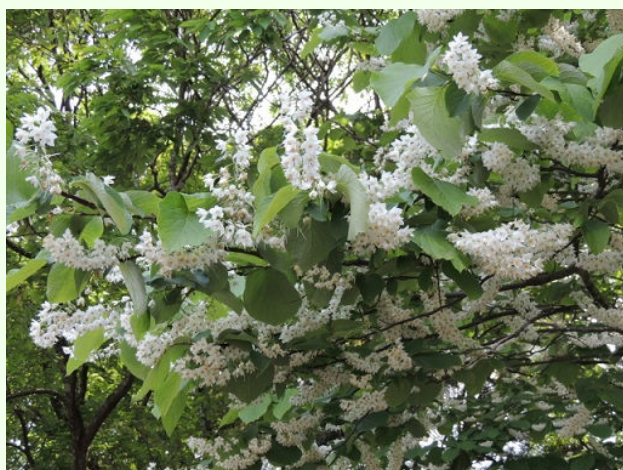
最初は身近にあったシラカシの雄花からです。地味な花、この風媒花の対象になったのは、キリの紫色したきれいな花、虫媒花です。

続いて、自家受粉をしてまで子孫を残す工夫を凝らしたオオイヌノフグリ、これとは反対に自家受粉ができないように雌しべを先に成熟させ、雄しべは翌日に展開するホオノキを観察する予定でしたが、残念ながら花卉が一枚開いた段階でした。

芝生一面に黄色い花を咲かせ、中にはすでに綿帽子をかぶっているタンポポは単為生殖で生き残り作戦を展開していることも。



トチノキとベニバナトチノキは春の青空を背景に咲き誇っていました。



林立するハクウンボクは名前の通り白い雲が沸き上がっているようでした。

